

YOTUKA

エンジン式粉砕機

YS-GS-350H

クイックガイド

初版

燃料 無鉛レギュラーガソリン

 エンジンオイルは
入っていません。

組立に必要な工具

- ・ 13、18、19mmスパナ
- ・ 6mm六角レンチ
- ・ 22mmボックスレンチ



安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に
本ガイドと WEB 取扱説明書を必ずお読みください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

詳細は
WEB 取説を
ご覧ください



ハイガー株式会社はSDGs・カーボンニュートラルの取組の一環として、紙の取扱説明書を大幅に削減いたしました。
どうぞご理解ください。



安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告 この表示の欄は「死亡または重症を負う恐れがある」内容です。



注意 この表示の欄は、「軽症、物的損害、故障が生じる恐れがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「**強制**」内容です。

日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

警告（製品に係る安全事項）



禁止

燃料の臭いがする場合、運転しないでください。爆発の危険があります。

エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。

エンジンが熱いうちは、給油しないでください。

燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。

運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。

換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。

可動している部分の近くに手または足を入れないでください。

エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。



強制

本機を密閉された場所に燃料を入れたまま放置しないでください。燃料が蒸発し、爆発の危険があります。

自動車で運搬する時は、燃料タンクの燃料を抜き、燃料コックを閉じてください。振動等により燃料が漏れることがあります。

給油時は、付近にタバコ等の火気の無いことを確認してください。燃料は非常に引火しやすく、気化した燃料は爆発の危険があります。

給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください。燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分してください。

燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。

給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。引火の恐れがあります。

給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。

燃料タンクキャップは確実に締めてください。運転中にこぼれると火災の恐れがあります。

⚠警告（製品に係る安全事項）

 禁止	改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。当社の保証サービスは一切受けられなくなります。
	正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
	未成年者の単独使用は禁止です。保護者等の監督下で作業してください。
	成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。
	運転中に回転部及び可動部（出力軸・フライホイール・ファンベルト・プーリー等）に手足や衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。
	運転中は絶対投入口、排出口をのぞき込んだり、排出口の下に入らないでください。
	周囲の動植物等にも排気ガスがかからないように注意をしてください。
 強制	運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。
	点火源となるような機器の近くに保管しないでください。燃料の蒸気へ引火する恐れがあります。
	運転中に高圧コードや点火プラグキャップに触れないでください。感電する恐れがあります。
	使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
	ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上ご使用ください。
	停止中でも、直接刃物に触れないでください。怪我をすることがあります。
	エンジンの周りに、木くずなど燃えやすいごみを蓄積させないでください。
	点検整備を行なう場合はエンジンを停止してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。
	点検整備を行なう場合は、エンジンスイッチをオフにしてください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
	エンジンの点検整備を行なう場合は、点火プラグキャップを外してください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
	点検整備はエンジンが冷えてから行ってください。エンジン本体やマフラー部のほか点火プラグの温度も高くなっており、やけどの恐れがあります。
	エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
	始動前点検を実施してください。
	舗装地、砂利、その他硬い地面や急傾斜地では使用しないでください。振動で本体が動き思わぬ事故につながる恐れがあります。

⚠注意（製品に係る安全事項）

 禁止	指定された用途以外には使用しないでください。	 強制	燃料は無鉛レギュラーガソリンを使ってください。
			長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
			給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
			部品交換は、純正部品を使用してください。
			本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。
			定期点検整備を行ってください。
			子供の手の届かない安全な場所に保管してください。

⚠警告（作業に係る安全事項）

 禁止	身体の調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。	 強制	水平で安定した場所に設置してください。
	動作中に回転部分に顔や手足を近づけないでください。		
	ご使用時は、使用者から12m以内は危険です、人や動物が入らないようにしてください。		適切な間隔で休憩をとってください。
	夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。		
	足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。		
	作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。		本機から離れる時や、危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンを停止してください。
	燃料を入れたまま運搬や保管をしないでください。持ち運ぶ際は、エンジンを停止し、燃料タンクの燃料を抜き取ってください。		

⚠注意（作業に係る安全事項）

 禁止	機械の稼働部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。	 強制	長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。
	エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。		長い髪は束ね、帽子やヘルメットでカバーしてください。
			本機を長時間使用しないときは、取扱説明書にしたがって保管してください。

各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。



梱包部品一覧

- 1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
- 2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
- 3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

A. 本体	B. シュータ（排出口）	C. シュータヘッド
	D. ホッパー（投入口）	E. スタンド
		H. レンチ

F. タイヤ		I. プラグレンチ	
G. 車軸		J. T型ボックスレンチ	

※上記写真はプロトタイプのため、製品仕様と異なる場合や部品が本体に取付済みの場合があります。
※取付工具は、ご用意ください。

■ご用意いただくもの

運転する場合に必要なもの

- ・無鉛レギュラーガソリン
- ・4ストロークエンジンオイル SAE10W-30
- ・漏斗（じょうご）

取付けに必要なもの

- ・13、18、19mm スパナ
- ・22mmボックスレンチ
- ・6mm六角レンチ

点検・整備に必要なもの

- ・ワイヤブラシ（点火プラグ掃除／回転刃掃除）
- ・モリブデン 그리스、 그리스注入器（ 그리스の塗布）
- ・10mm/13mmスパナ（ホッパー、シュータの点検）
- ・廃油受け（燃料／オイル交換）
- ・パーツクリーナー（回転刃交換）
- ・緩み防止剤（回転刃交換）
- ・ヒートガン（回転刃交換）
- ・17mmスパナ（ドラムの手動回転）
- ・8mmスパナ（ベルトカバーの取外し）

主要諸元

モデル名	YS-GS-350H
エンジン形式	4ストロークOHV エンジン
エンジン馬力	7.0HP
総排気量	212cm ³
粉碎可能な枝径	最大105mm
ブレード回転速度	2200min ⁻¹ (rpm)
始動方式	リコイルスターター
燃料	無鉛レギュラーガソリン
ガソリン量	3.6L
エンジンオイル	SAE10W-30
エンジンオイル量	0.55L
燃費	1Lあたり約27分
刃	150mm両刃×2枚
騒音レベル	粉碎物投入前約90dB、投入中約100dB、投入中MAX118dB
互換点火プラグ	BPR6ES（NGK）

重量	106kg
本体サイズ (幅×奥行×高さ)	660×1750×1160mm
タイヤサイズ	145/70-6

◎弊社は、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

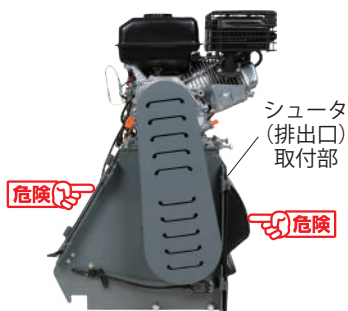
組立て

⚠注意

- 取扱説明書をよく読んで正しく取付けてください。
- 作業は、自身や周囲の確認をしながら安全に行ってください。
- 組立ては2人以上で行い、手袋、長袖シャツなどの保護具を使用してください。
- 平坦で固い地面の上で組立て作業を行ってください。

シュータ（排出口）の取付け

本体にシュータ（排出口）を取付けます。



⚠警告

- シュータを取付ける際、本体が倒れないように一人が支えてください。
- 回転刃が出ていますので触れないように十分ご注意ください。



- 1 本体シュータ取付位置のヒンジ（メス）に、シュータ（排出口）のヒンジ（オス）を挿込みます。



- 2 シュータ（排出口）をゆっくり閉めます。



- 3 トグルクランプの外れを防止するDピンを一旦取外します。



- 4 トグルクランプをフックに引っ掛け、ハンドルを倒してロックします。



⚠注意

指を挟まないようご注意ください。

- 5 Dピンを取付けロックします。



シュータヘッドの取付け

シュータ（排出口）にシュータヘッドを取付けます。

- 1 シュータヘッドのボルトとレバーハンドルを緩めます。





- 2** シュータ（排出口）にシュータヘッドをかぶせ、ボルト、レバーハンドルを締付け固定します。（向きの調整はweb取説の取扱い「シュータヘッドの角度調整」参照）



スタンドの取付け

本体にスタンドを取付けます。

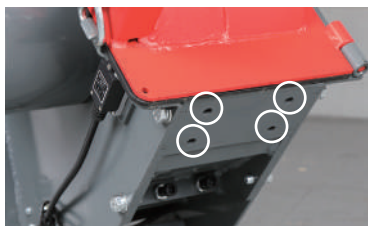
- 1** スタンドに仮留めしているボルト、ワッシャ、ナットを一旦取外します。



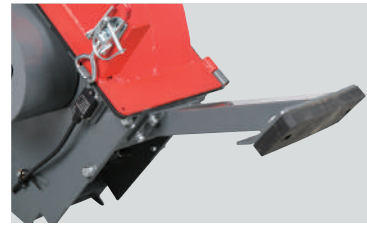
- 2** 本体を慎重にゆっくり傾けます。



- 3** 取付穴にスタンドの穴を合わせ、ワッシャを通したボルトを4ヵ所仮留めをします。
※ナットは使用しません。



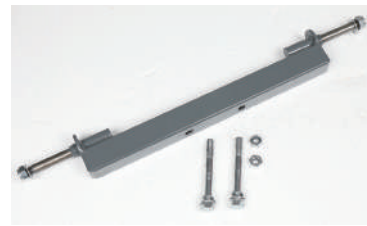
- 4** 4ヵ所を均等に少しずつ13mmのスパナ等で増し締めします。



タイヤの取付け

本体にタイヤを取付けます。

- 1** シャフトの台座に仮留めしているボルト、ワッシャ、ナット、一旦取外します。



- 2** タイヤを傾けるとカラーがずれてシャフトに入らないため、カラーを中心にずらします。



- 3** シャフトに仮留めしているワッシャ、ナットを一旦取外します。



- 4** タイヤをシャフトに通します。バルブがある側が外側になります。



- 5** シャフトにワッシャを通し、ナットを取付けます。



- 6** 22mmのボックスレンチ等で締付けます。その際強く締めすぎるとタイヤの回転が渋くなります。



様子を見ながら行ってください。ナットには緩み防止剤が付いているので簡単には緩みません。



- 7** 反対側のタイヤも同様に取付けます。

- 8** 写真のようにタイヤを並べます。



- 9** 本体を慎重にゆっくり傾けます。その際、エアクリーナーやマフラー部に手をかけないでください。破損の恐れがあります。



⚠ 警告

回転刃に触れないように十分ご注意ください。

- 10** タイヤを移動させ、本体下部の溝にはめ込みます。



- 11** 本体取付穴とシャフトステーの穴を合わせ、下からスプリングワッシャ、ワッシャを通したボルトを穴に挿込みます。



- 12** 上からワッシャ、ナットを取付けます。



- 13** ナットを19mmのスパナ等で固定しながら、18mmのスパナ等でボルト増し締めします。



⚠ 注意

空気は自然に抜けてくるため、ご使用前や1ヶ月に1度程度定期的にタイヤの空気圧を確認し、空気圧の調整をしてください。空気圧が低いままご使用になりますとタイヤがホイールから外れてしまう恐れがあります。

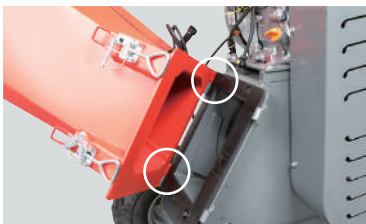
ホッパー（投入口）の取付け

本体にホッパー（投入口）を取付けます。

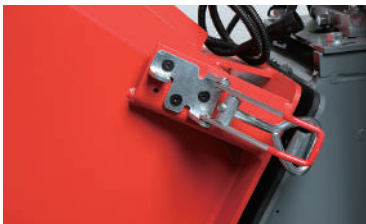
警告

回転刃が出ていますので触れないように十分ご注意ください。

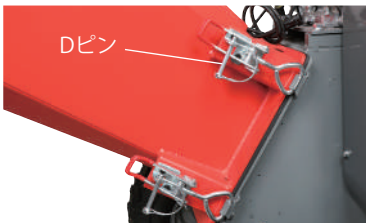
- 1 本体ホッパー取付位置のヒンジ（メス）にホッパー（投入口）のヒンジ（オス）を挿込みます。



- 2 ホッパー（投入口）をゆっくり閉めます。
- 3 トグルクランプの外れを防止するDピンを一旦取外します。
- 4 トグルクランプをフックに引っ掛け、ハンドルを倒してロックします。



- 5 Dピンを取付けロックします。



安全装置の配線

- 1 エンジン側から出ている短い配線のコネクタとホッパー（投入口）上部から出ているコネクタを接続します。



- 2 エンジン側から出ている長い配線のコネクタとホッパー（投入口）下部から出ているコネクタを接続します。



- 3 たるんだ配線をクリップで固定します。



取扱い

緊急停止ボタン

- 1 緊急時にボタンを押し込むとエンジンが停止します。



解除はボタンを時計回りに回すとボタンが戻ります。ボタンを復帰しないとエンジンはかかりません。



安全バー

- 1 緊急時にバーを押し込むとエンジンが停止します。



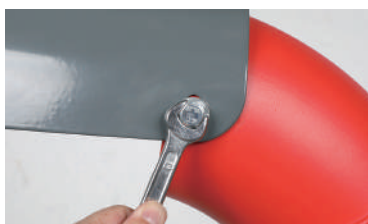
安全装置

- 1 ホッパー（投入口）、またはシュータ（排出口）が開いている時は、安全装置が働きエンジンがかかりません。



シュータヘッドの角度調整

- 1 13mmのスパナで左右のボルトを緩め、角度の調整後ボルトを締付けます。



シュータヘッドの向き調整

- 1 6mmの六角レンチで六角ボルトを緩めます。



- 2 レバーハンドルを反時計回りに回して緩めます。



- 3 シュータヘッドを最適な方向に回転させます。



- 4 方向が決まったら六角ボルトを締付け、緩み防止ナットを13mmのスパナで締付けます。



- 5 レバーハンドルを時計回りに回して締付けます。



- 6 レバーハンドルを引いて回すことで、レバーをお好きな位置にすることができます。



運転前の点検

警告



禁止

- エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- 運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。



強制

- 燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- 燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- 燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。
- 燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

⚠️ 注意



強制

- 燃料給油キャップは確実に締めてください。
- 長期間使用しない場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- 給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。

燃料の給油

工場出荷時、燃料は入っていません。

下記要領で給油してください。

- 1** 燃料を準備します。

使用燃料	無鉛レギュラーガソリン
タンク容量	3.6L

- 2** 燃料給油キャップを開け、ストレーナ(こし網)の半分より上を超えないように少しずつこぼさないように給油します。



- 3** 給油が終わったら燃料給油キャップをしっかり閉めます。

エンジンオイルの点検

工場出荷時、エンジンオイルは入っていません。

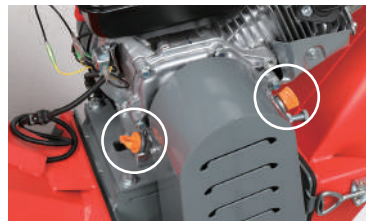
下記要領で給油してください。

- 1** エンジンオイルを準備します。

推奨オイル	4ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30
オイル容量	0.55L

- 2** 本体を水平な場所に移動させます。

- 3** オイル給油口は2カ所あります。どちらから給油して問題ありませんが、片方のオイル給油キャップにはゲージが付いていません。



- 4** オイル給油キャップを取外し、オイルゲージを布などで拭取ります。



- 5** エンジンオイルを少しずつ給油します。

⚠️ 注意

エンジンテストを行っているため、多少オイルが残っている場合があります。オイルゲージを確認しながら少しずつ給油してください。

- 6** オイル給油キャップを一旦締付け、再度取外します。



- 7** オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)までであるか点検します。



適正量はゲージの中央です。

- 8** 確認後、オイル給油キャップを確実に閉めてください。

- 9** 使用2回目以降、運転前に必ずエンジンオイル量や汚れを点検してください。

運転操作の仕方

警告



禁止

- 燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ホッパー（投入口）に何も入っていないことを確認してください。
- エンジン始動と同時に刃が動きますので注意してください。
- エンジン始動と同時に排出口からチップが排出されることがありますので注意してください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので高温部に触れないでください。



強制

- 回転している部分の近くに顔を近づけたり、手または足を入れないでください。
- 平坦な場所で作業を行ってください。
- エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- 本機から離れる時は必ずエンジンを停止してください。
- 少しの移動でもエンジンを停止してください。

注意

エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

エンジンのかけ方

- 1** 緊急停止ボタンが押されていないことを確認します。



- 2** ホッパー（投入口）、またはシュータ（排出口）が確実に閉まっていることを確認します。開いていると安全装置が働き、エンジンがかかりません。

- 3** アクセルレバーを、「うさぎマーク」と「かめマーク」の間にします。



アクセルレバー

- 4** チョークレバーを左いっぱい「閉」にし、燃料コックを右いっぱい「ON」にします。



チョークレバー

燃料コック

- 5** エンジンスイッチを「ON」にします。



- 6** 本機をしっかり保持し、リコイルスターターロープを引きます。



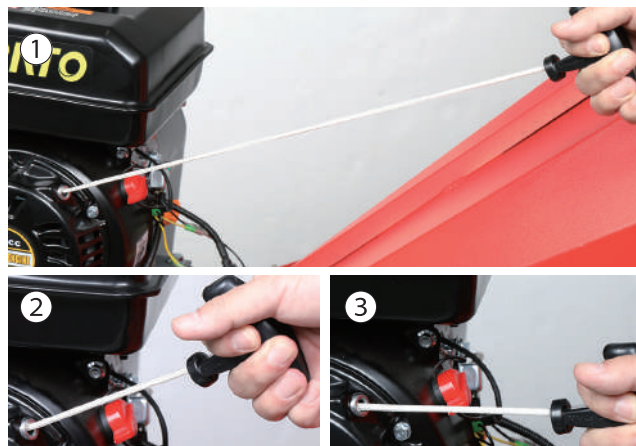
リコイルスターター

※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引きます。おおよそ60～70cm引きます。（ロープは一杯に引きすぎないでください。）引きが少ないとエンジンはかかりません。

注意

何度もチョークを閉じたままリコイルスターターロープを引くと、点火プラグを濡らしてしまいます。万が一、濡らしてしまった場合は、web取説「困った時の対処法（点火プラグの点検）」をご覧ください。

リコイルの引き方ポイント



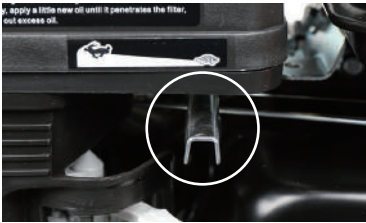
- ① 良い例：約70cm引いている。
② 良い例：穴に対してロープが真っ直ぐ。
③ 悪い例：抵抗がありエンジンがかかりにくく、ロープが摩擦で切れます。

エンジンがかかったら

- 1** エンジンがかかったらすぐにチョークレバーを右（開）に戻します。



- 2** エンジンが始動したら1～2分程度暖気運転を行い、運転状況を確認します。

- 3** 数分慣らし運転をした後、アクセルレバーを「うさぎマーク」側にします。
- 
- 4** 粉碎作業を行います。(web取説の運転操作の仕方「粉碎作業」参照)

⚠注意

- ・ 粉碎作業を行う場合は、高速回転（アクセルレバーをうさぎ側）で行ってください。
- ・ 作業を中断する時は、その都度アクセルレバーを低速側にしてください。

エンジンの止め方

- 1** 投入した枝の粉碎残りが無いことを確認します。
- 2** エンジンスイッチを「OFF」にします。
- 3** 燃料コックを左っぱいに「OFF」にします。

👉 エンジンがかからない時

1. 点火プラグキャップを外します。
2. 点火プラグを外します。
3. リコイルスターターを数回引いて、シリンダ内を換気します。
4. 点火プラグを取付けます。
5. 点火プラグキャップを取付けます。
6. チョークレバーを右（開）にします。
7. リコイルスターターを軽く引き、重く感じたところで一旦止め、一度戻してから、素早く引くとエンジンがかかります。

※詳細はWEB取説をご覧ください。

保証内容について

本規約は、ハイガー（以下「弊社」とする）を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。

弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。

返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がありますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日（ご来店引取の場合ご来店日）から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。

保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。

商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

・ お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。（以下、この無料修理を「保証修理」とする）往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。

・ 保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。

・ 本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。

・ 本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

(1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合

(2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合

(3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合

(4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合

(5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合

(6) 弊社が認めていない改造をされたもの

(7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの

(8) 注意を怠った結果に起きたもの

(9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの

(10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象（退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等）

(11) 機能に影響のない感覚的な現象（音、振動、オイルのにじみ等）

(12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品

(13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品（ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、パネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等）

(14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等

(15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填（休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等）

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡をください。

またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。

症状・使用状況を伺いし、お手続方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

・ 動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。

・ 部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。

・ 仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。

・ 仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。

・ 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。

・ 無在庫転売（送り先が毎回違う購入者）の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。

また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

■アフターサービスについて■

1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。

2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。

3. 保証期間（1年間）を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。

4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。

5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。